

合格スタンダード講座

全体構造

パワーポイントスライド集

リーダーズ総合研究所
主任講師

山田 齊明 先生

辰巳法律研究所

TOKYO・YOKOHAMA・OSAKA・KYOTO・NAGOYA・FUKUOKA

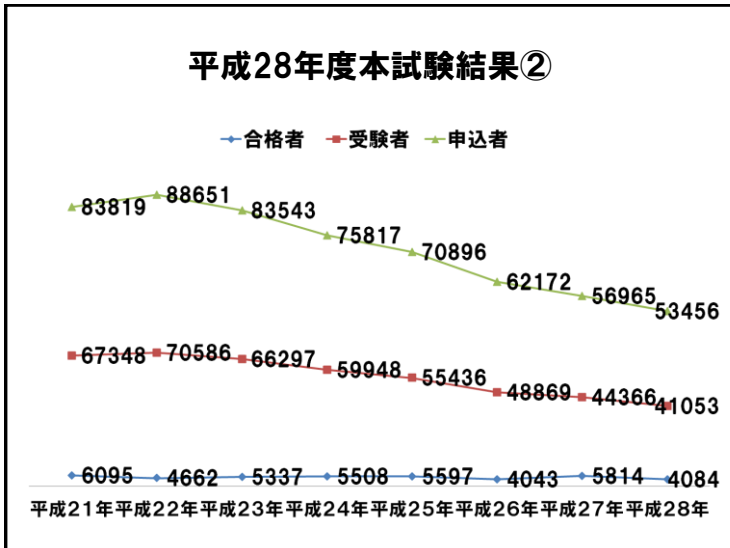
合格スタンダード講座 全体構造

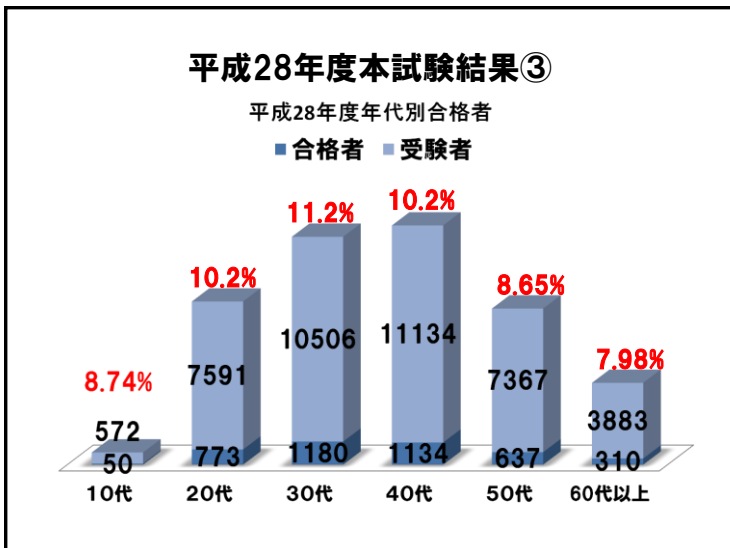
リーダース総合研究所
山田斉明

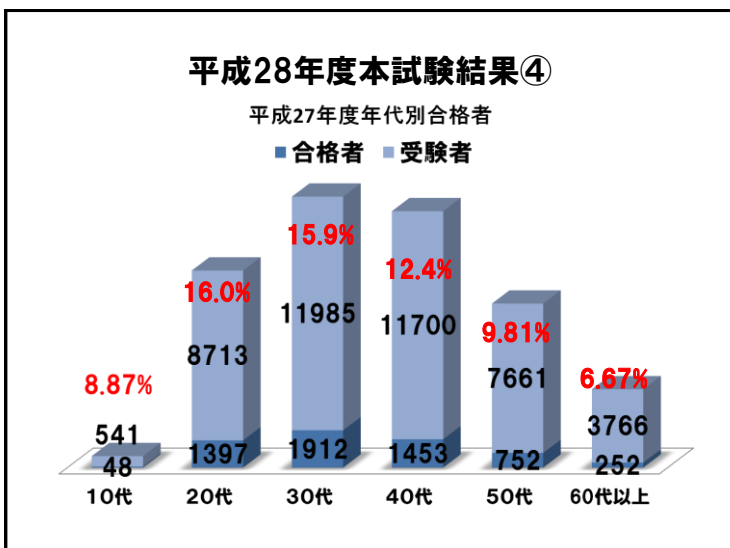


平成28年度本試験結果①

	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
平成24年度	75,817	59,948	5,508	9.19%
平成25年度	70,896	55,436	5,597	10.10%
平成26年度	62,172	48,869	4,043	8.27%
平成27年度	56,965	44,366	5,814	13.1%
平成28年度	53,456	41,053	4,084	9.95%
過去5年	63,861	49,934	5,009	10.0%







平成28年度本試験結果⑤

	申込者	合格者
最高齢	92歳	81歳
最年少	10歳	14歳



平成29年度本試験対策①

《3つのポイント》

- ① **記述式を除いて160点前後**
 - 行政法択一式で19問中15問以上
 - 民法択一式で9問中5問以上
- ② **一般知識で6問以上**
 - 時事問題と文章理解
- ③ **判例問題対策**
 - 憲法・行政法・民法

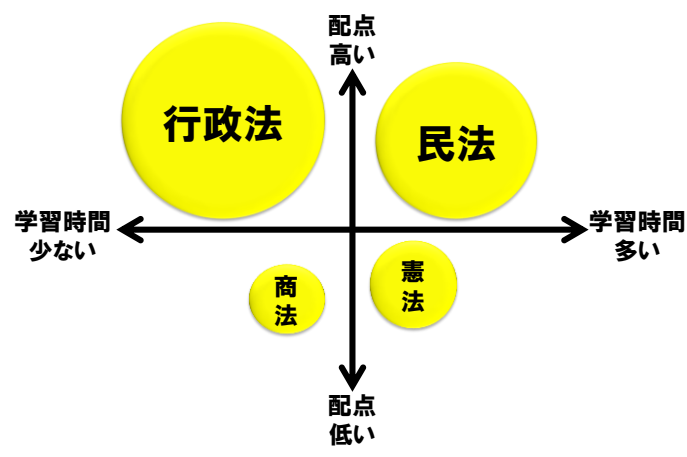
平成29年度本試験対策②

	択一式	記述式	多肢選択式	合計
行政法	/76	/20	/16	/112
民法	/36	/40	/	/76
一般知識	政経社	/	/	/28
	情報	/	/	/16
	文章理解	/12	/	/12
憲法	/20	/	/8	/28
商法	/20	/	/	/20
基礎法学	/8	/	/	/8
合計	/216	/60	/24	/300

平成29年度本試験対策③

	2014年	2015年	2016年	難易度	
法令科目	基礎法学	54.8%	40.3%	54.1%	易
	憲法	45.3%	68.4%	47.1%	難
	行政法	57.6%	71.5%	65.5%	難
	民法	43.6%	52.5%	55.2%	易
	商法	38.5%	34%	40.5%	易
一般知識	政経社	50.2%	48.7%	48.5%	同
	情報	62.8%	67.5%	56.6%	難
	文章理解	50.8%	66.5%	75.9%	易

平成29年度本試験対策④





行政法①

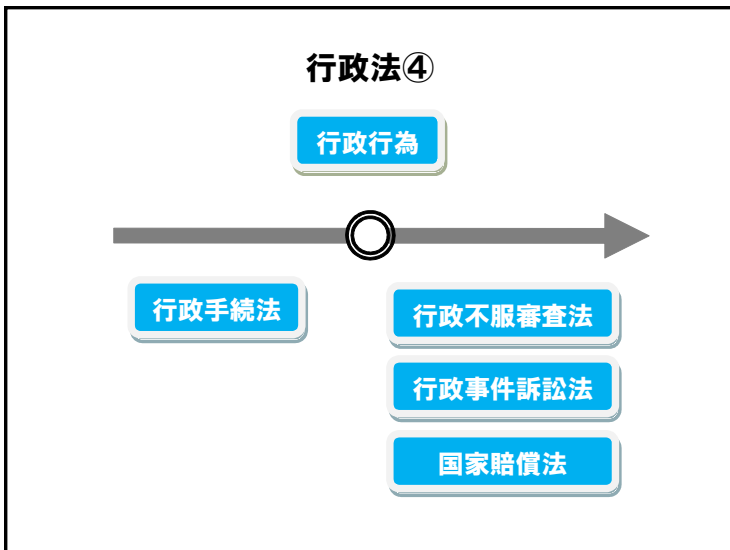
	2014年	2015年	2016年
行政法総論	21%/24点	25%/28点	29%/32点
行政手続法	11%/12点	18%/20点	18%/20点
行政不服審査法	7%/8点	7%/8点	11%/12点
行政事件訴訟法	18%/20点	29%/32点	21%/24点
国家賠償法	7%/8点	7%/8点	7%/8点
地方自治法	29%/32点	11%/12点	11%/12点
総合	7%/8点	3%/4点	3%/4点

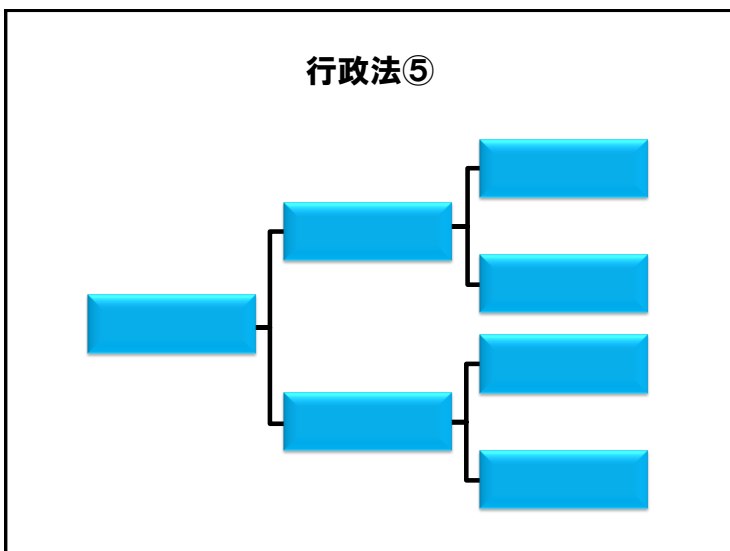
行政法②

	理論	条文	判例
行政法	○	◎	◎
民法		○	◎
憲法		○	◎
商法		◎	

行政法③

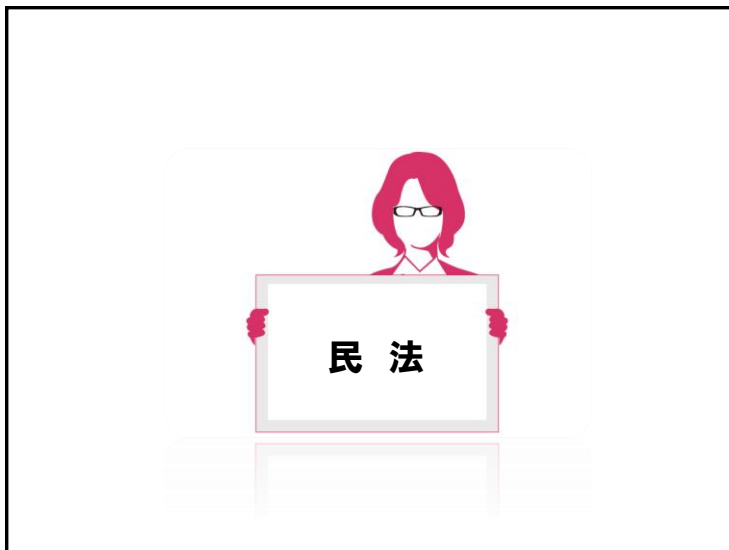
	条文(理論)			判例		
Aランク	5	13	12	19	9	18
	11	17	15	25	10	24
	16					
Bランク	22	23		20	21	26
Cランク	14					





行政法⑥

	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
総論						○					○
行政手続法		○									
行政不服審査法											
行政事件訴訟法	○		○	○	○		○	○		○	
国家賠償法											
地方自治法									○		
公務員法											

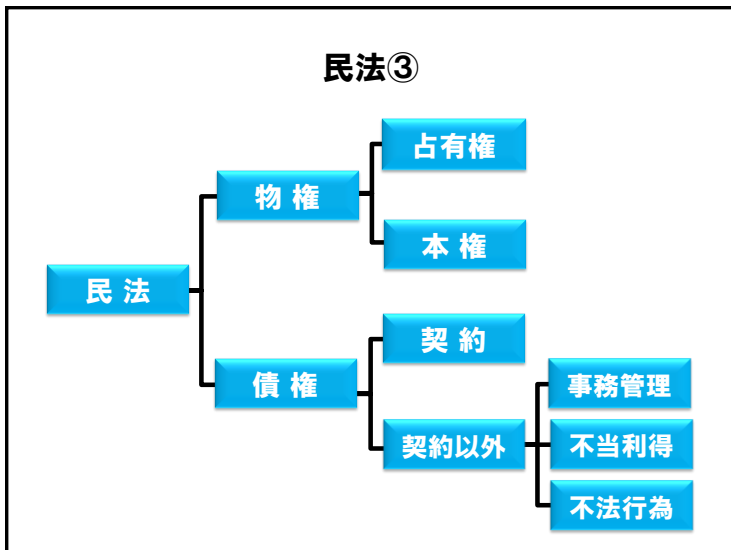


民法①

	理論	条文	判例
行政法	○	◎	◎
民法		○	◎
憲法		○	◎
商法		◎	

民法②

	条文	判例
Aランク		34 27 28 29
Bランク	30	33
Cランク	35 31	32



民法④

《民法の前提知識》

1 要件

① ○○○○○

② △△△△△ ← 判例

③ ×××××

2 効果

① □□□□□ ← 判例

② ◇◇◇◇◇

3 論点

民法⑤

	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
総則						△		○			
物権				○				○		○	
担保物権	○					○					
債権総論		○	○	○	●		○		○		
債権各論	○	○	○			△			○		○
親族										○	○
相続							○				



一般知識①

	政経社		情報		文章理解	
Aランク	52	47	54		59	58
					60	
Bランク	49	51	55	56		
Cランク	50	53	57			
	48					

一般知識②

	出来事
問題47肢5	2016年5月 オバマ大統領広島訪問
問題48	2015年夏 改正公職選挙法
問題49	2015年 スポーツ庁・防衛装備庁
問題50	2016年2月 TPP協定署名
問題52	2016年4月 障害者差別解消法施行
問題53肢5	2011年 東日本大震災

一般知識③

	20	21	22	23	24	25	26	27	28
近代政治史	○				○				
各国の政治体制				○					
選挙制度		○	○				○	○	○
政党・利益集団						○	○		
行政組織	○		○				○		○
行政改革		○				○	○		
地方分権改革				○	○				
国際政治							○	○	○
現代政治史					○	○			

一般知識④

	20	21	22	23	24	25	26	27	28
国の財政	○	○		○			○		
地方財政			○						
日本銀行				○					
日本の企業・産業	○		○		○	○		○	
国際経済				○			○		○
現代経済史					○	○			○

一般知識⑤

	20	21	22	23	24	25	26	27	28
社会保障	○	●		○				○	
少子・高齢化問題							○	○	
雇用・労働問題			○		○	○			
環境問題	○	○		○					
難民・外国人問題			○				○		○
現代社会史									○

一般知識⑥



判例対策

判例対策①

行政法		民法	
19問中13問	Aランク	9問中4問	
19問中5問	Bランク	9問中2問	
19問中1問	Cランク	9問中3問	
個数0 組合せ4	出題形式	個数0 組合せ3	
19問中9問	判例問題	9問中6問	

判例対策②

	2014年	2015年	2016年	難易度
法令択一式	80.8点	96.9点	91.1点	難
多肢選択式	14.2点	19.9点	16.5点	難
一般知識	29.7点	32.4点	31.4点	やや易
合計 (記述式除く)	124.7点	149.3点	139点	難

判例対策③

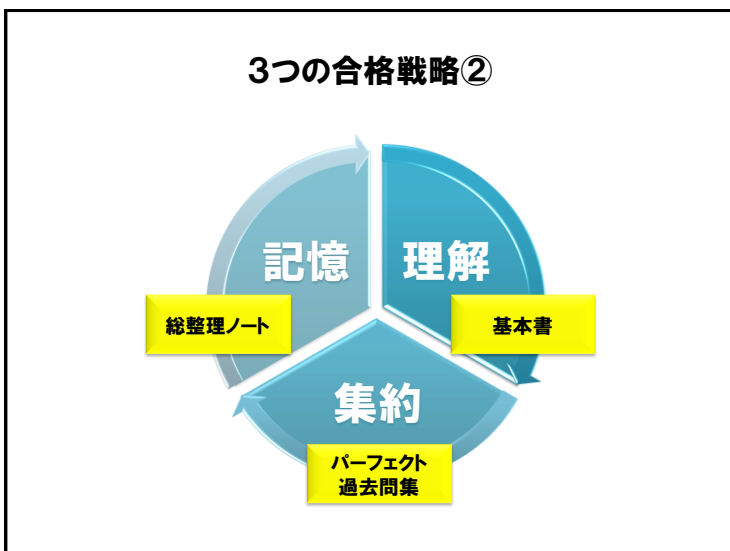
	問題41	問題42	問題43
H24	判例 旭川学テ事件	判例 最判平24.2.9	理論 行政機関
H25	判例 最判平20.4.11	理論 行政罰	判例 東地平22.3.30
H26	判例 砂川事件	条文 訴訟参加等	条文 地方公務員法
H27	判例 最判平17.7.14	条文 行政指導	判例 最判昭60.7.16
H28	判例 最大判昭59.12.12	判例 最大判平4.7.1	判例 最判昭42.4.7

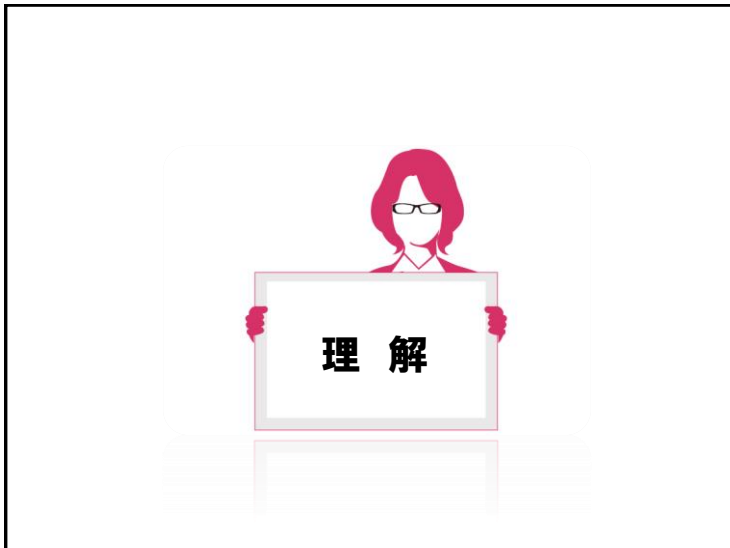


3つの合格戦略①

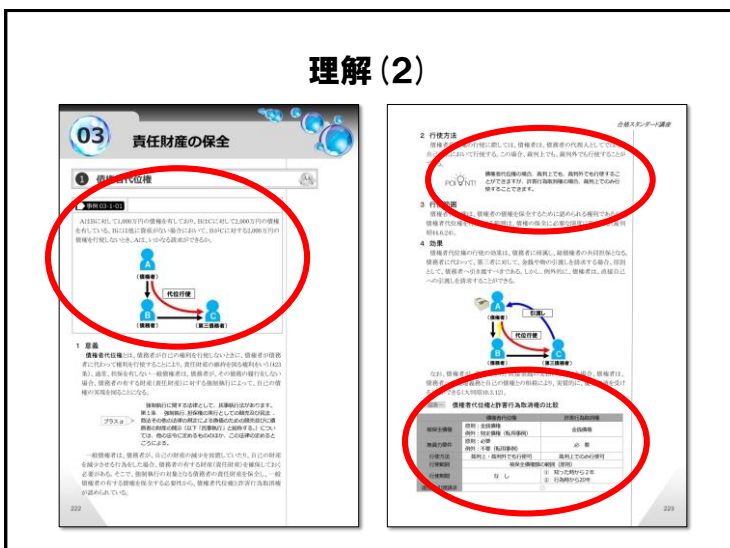
《合格戦略》

- ① 民法・行政法☆重点傾斜型学習戦略
→ 全体300点中188点(約63%)
→ 法令科目244点中188点(77%)
- ② 過去問「分析」型学習戦略
→ 出題パターンの「抽出」ツール
- ③ 判例学習戦略
→ 判例の“暗記”から“理解”へ









理解 (3)

224

225

理解 (4)

思考法

- ①ゼロベース思考
- ②フレームワーク思考
- ③オプション思考

図解作成手法

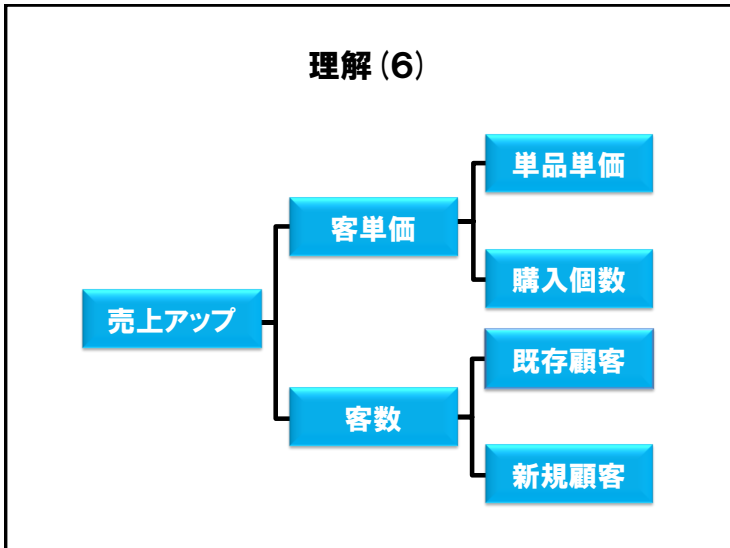
- ①ロジックツリー
- ②マトリックス
- ③プロセスチャート

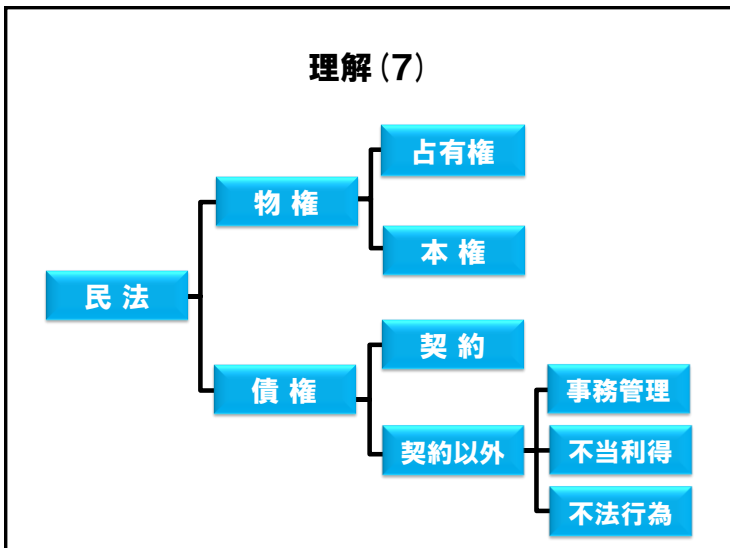
理解 (5)

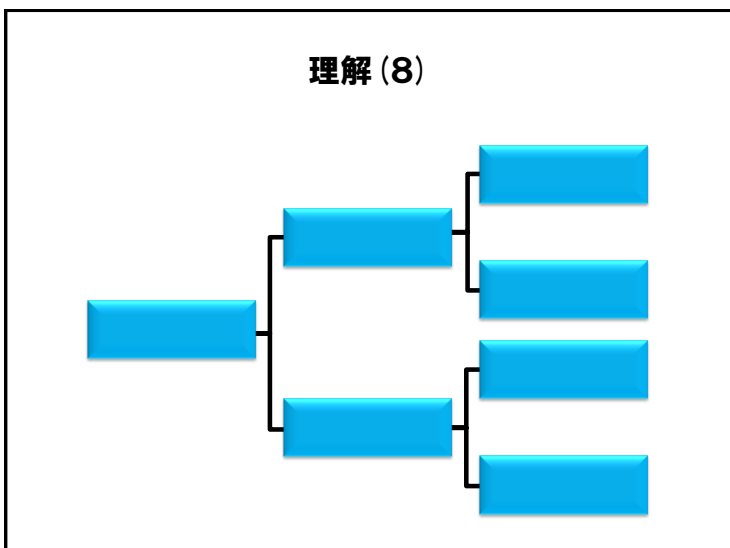
フレームワーク思考とは、物事を理解しやすく、また、説明しやすくするために、対象となる課題につき、全体の枠組みを使用して、その中で様々な事項・要素を考え出していくこと。

思考のプラットフォーム

思考の切り口・視点







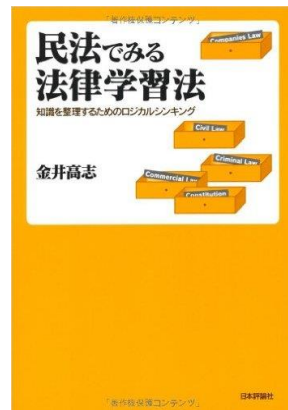
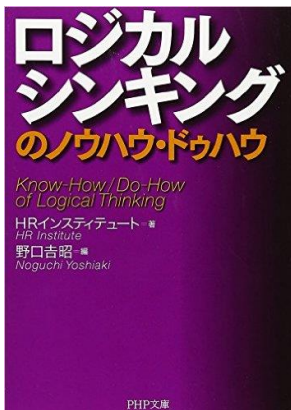
理解(9)

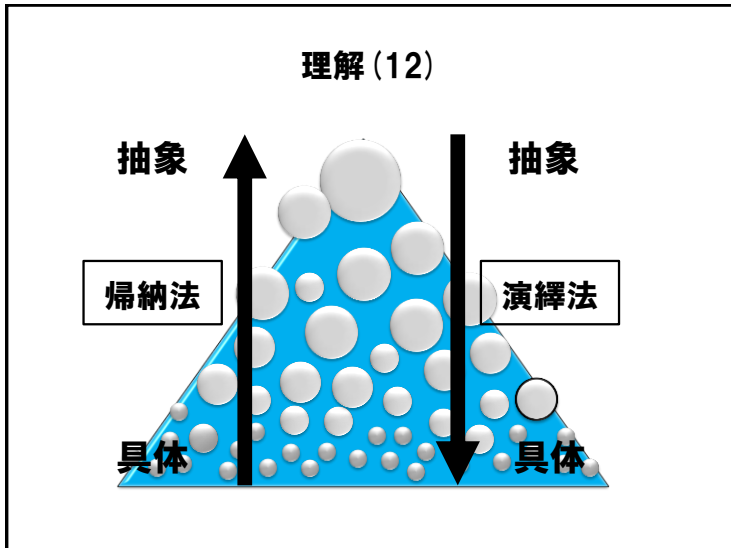
	A	B
甲		
乙		

理解(10)



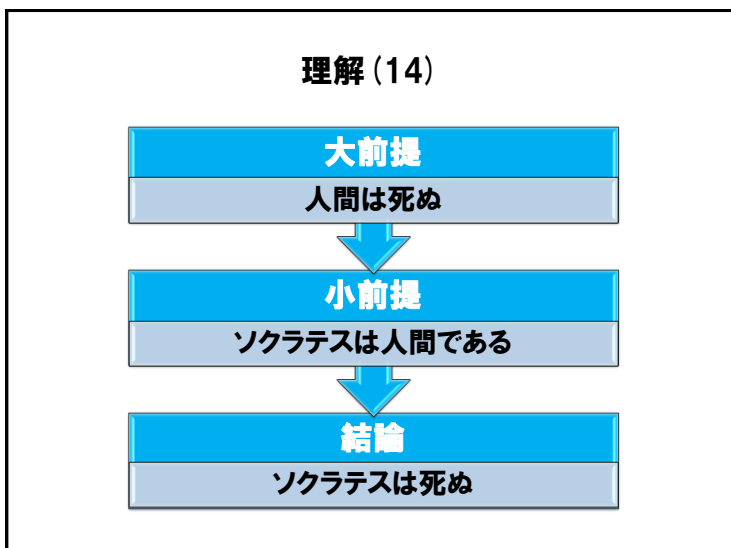
理解(11)



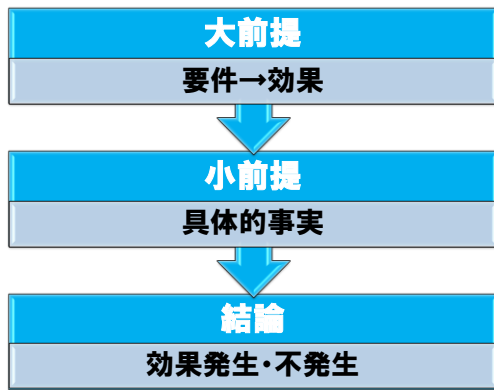


理解 (13)

帰納法	演繹法
個々の具体的事実から、具体的事実関係の本質的な共通点を推論し、結論を導き出す説明	一定の前提から論理規則に基づいて必然的に結論を導き出す説明



理解(15)



理解(16)

《問題①》

代理権限の与えられていないAが、本人Xの代理人である旨を記載した白紙委任状を偽造して提示し、代理人と称したので、Bがそれを信頼して契約をした場合、本人Xに契約上の効果が帰属するか。

理解(17)

① 代理権授与表示

白紙委任状が代理人によって濫用された場合、本人が相手方の悪意・有過失を主張立証しない限り、109条の表見代理が認められる。

② 表示された代理権の範囲内の代理行為

他人が、表示された代理権を超えて代理行為をした場合には、109条と110条の重畳適用となる。

③ 相手方が善意・無過失であること

相手方の悪意・有過失は、本人が立証する責任を負う(最判昭41.4.22)。

理解(18)

《問題②》

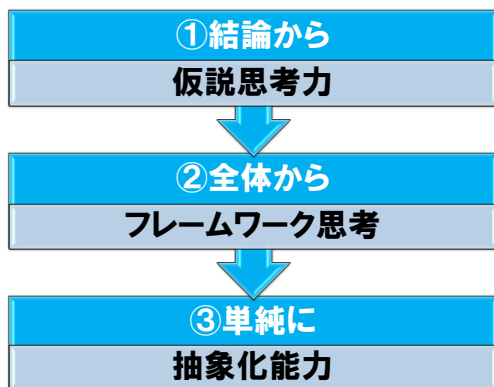
A所有のカメラをBが処分権なしに占有していたところ、CがBに所有権があると誤信し、かつ、そのように信じたことに過失なくBから同カメラを買い受けた。Bは、Cにカメラを売却し、以後Cのために占有する旨の意思表示をし、引き続きカメラを所持していた。Cに即時取得が成立するか。

理解(19)

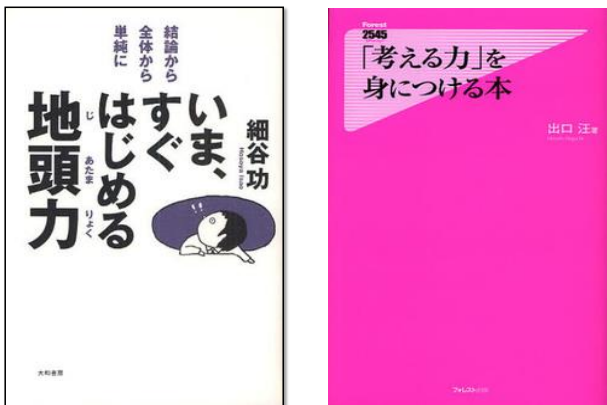
- ① 動産であること
- ② 有効な取引行為
- ③ 前主が無権利者であり、動産を占有していたこと
- ④ 前主が無権利であることにつき平穩、公然、善意無過失
- ⑤ 占有を始めたこと

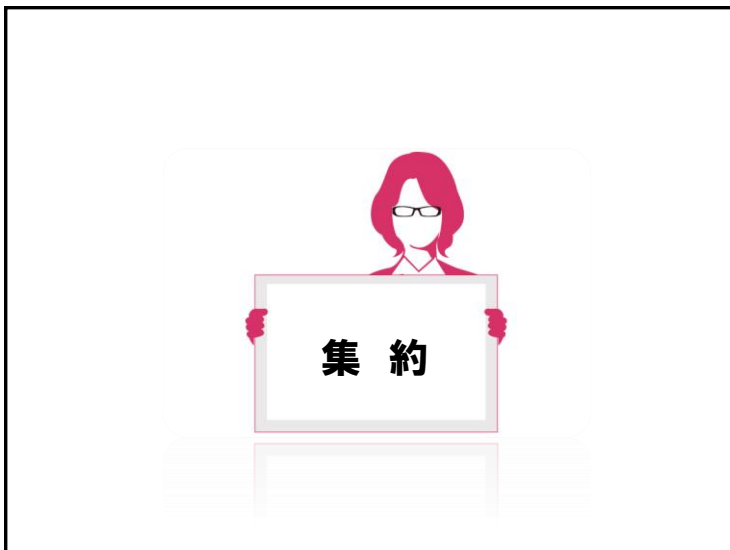
占有には、現実の引渡し、簡易の引渡し、指図による占有移転は認められているが、占有改定は認められていない(最判昭35.2.11)。

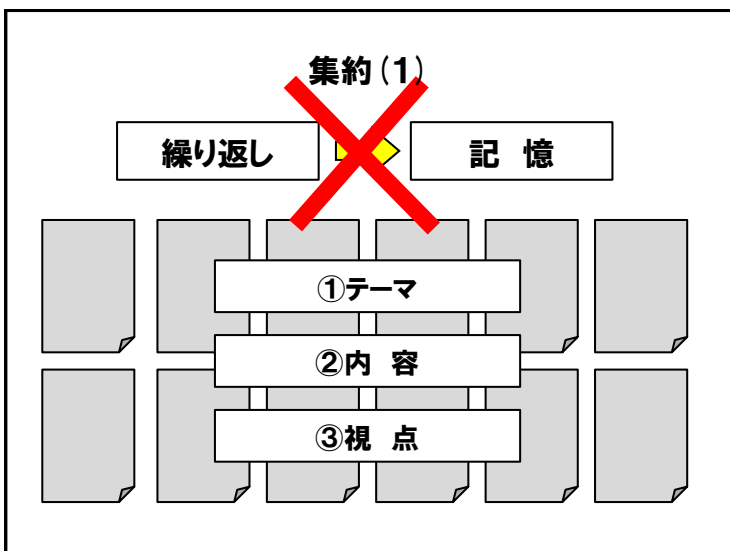
理解(20)

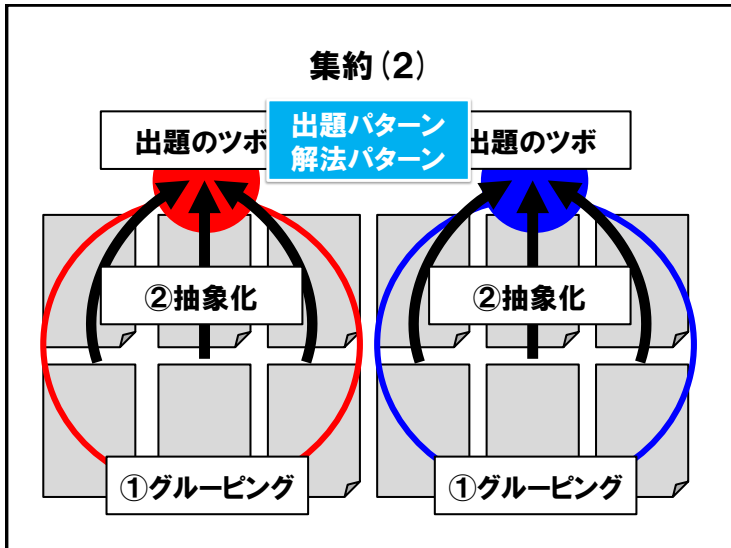


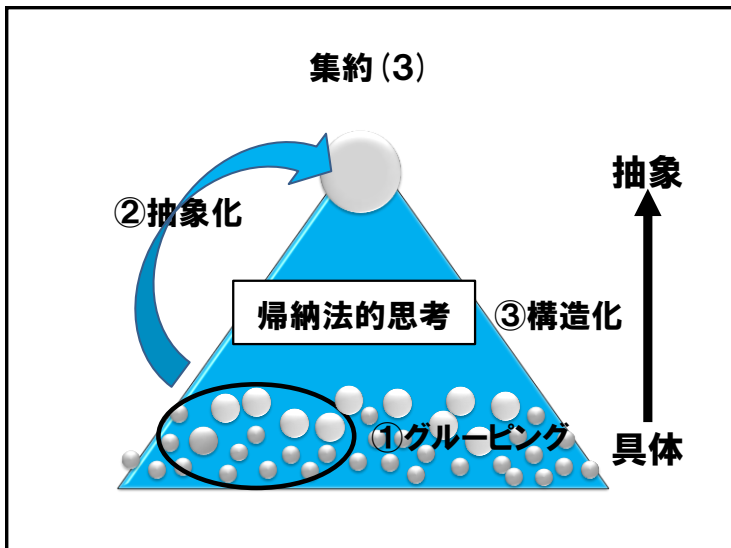
理解(21)









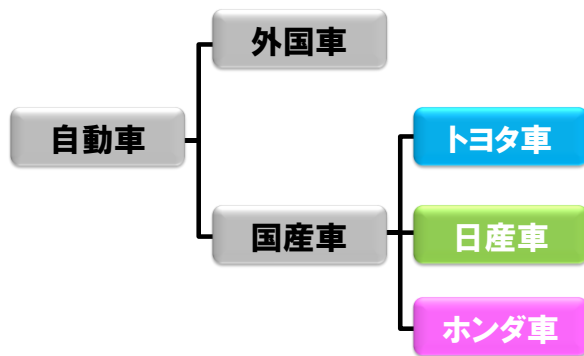




集約(5)



集約(6)



集約(7)

民法94条(虚偽表示)

- ① 相手方と通じてした虚偽の意思表示は、無効とする。
- ② 前項の規定による意思表示の無効は、善意の第三者に対抗することができない。

民法109条(代理権授与の表示による表見代理)

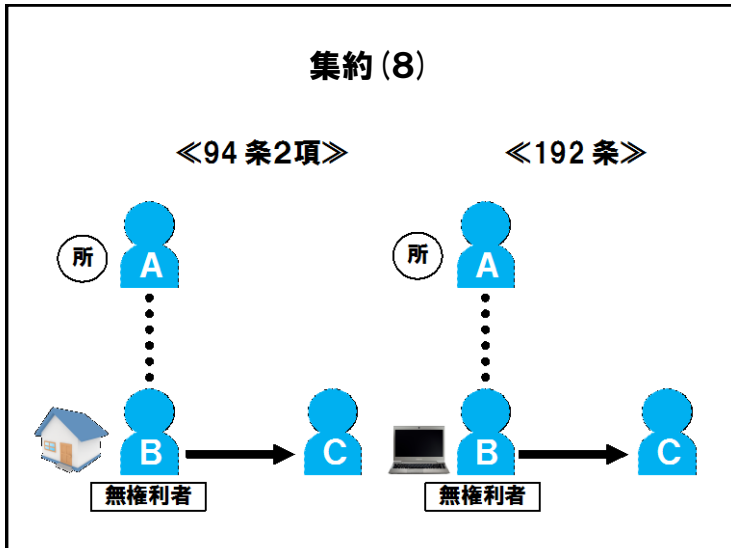
第三者に対して他人に代理権を与えた旨を表示した者は、その代理権の範囲内においてその他人が第三者との間でした行為について、その責任を負う。ただし、第三者が、その他人が代理権を与えられていないことを知り、又は過失によって知らなかったときは、この限りでない。

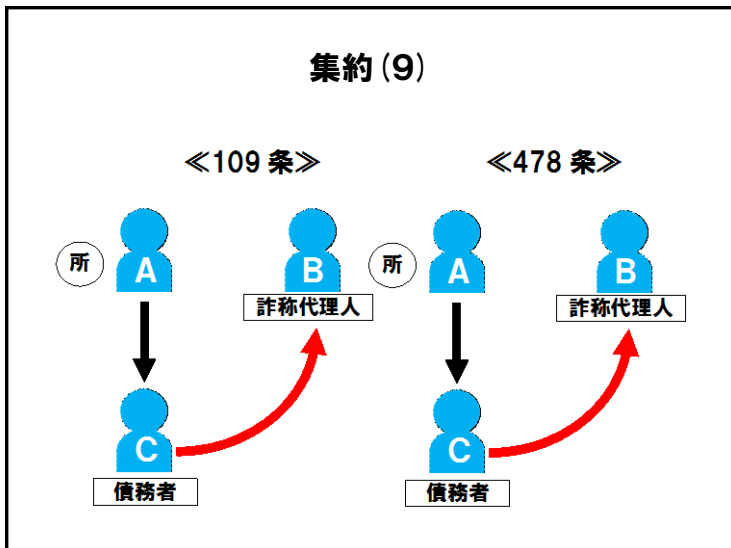
民法192条(即時取得)

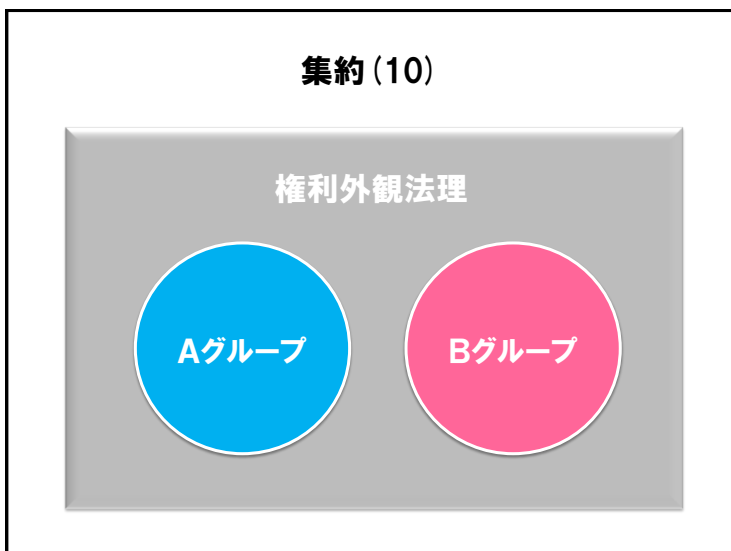
取引行為によって、平穩に、かつ、公然と動産の占有を始めた者は、善意であり、かつ、過失がないときは、即時にその動産について行使する権利を取得する。

民法478条(債権の準占有者に対する弁済)

債権の準占有者に対してした弁済は、その弁済をした者が善意であり、かつ、過失がなかったときに限り、その効力を有する。







集約(11)

会社法9条(自己の商号の使用を他人に許諾した会社の責任)

自己の商号を使用して事業又は営業を行うことを他人に許諾した会社は、当該会社が当該事業を行うものと誤認して当該他人と取引をした者に対し、当該他人と連帯して、当該取引によって生じた債務を弁済する責任を負う。

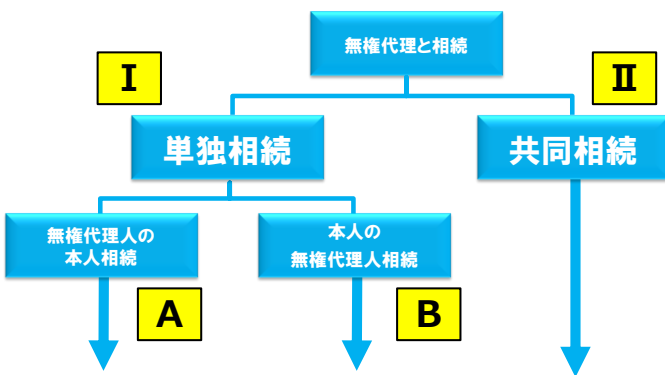
会社法13条(表見支配人)

会社の本店又は支店の事業の主任者であることを示す名称を付した使用人は、当該本店又は支店の事業に関し、一切の裁判外の行為をする権限を有するものとみなす。ただし、相手方が悪意であったときは、この限りでない。

会社法354条(表見代表取締役)

株式会社は、代表取締役以外の取締役に社長、副社長その他株式会社を代表する権限を有するものと認められる名称を付した場合には、当該取締役がした行為について、善意の第三者に対してその責任を負う。

集約(12)

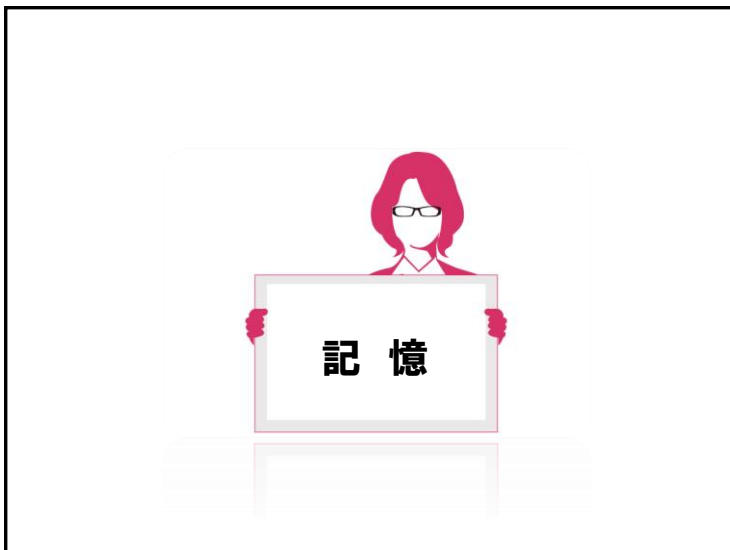


集約(13)

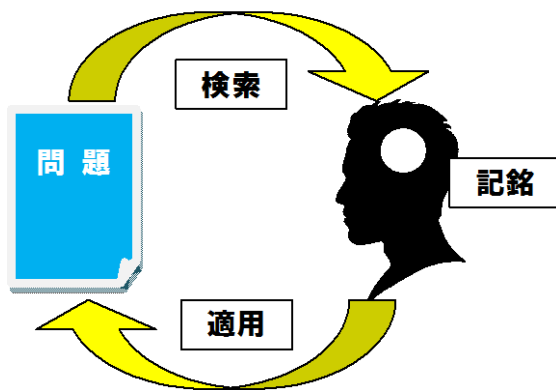
	内部者	外部者
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 明渡請求× 原状回復請求○ 	<ul style="list-style-type: none"> 明渡請求○ 妨害排除請求○ 抹消登記請求○ (単独で持分全部)
カネ		<ul style="list-style-type: none"> 損害賠償請求○ (自己の持分のみ)

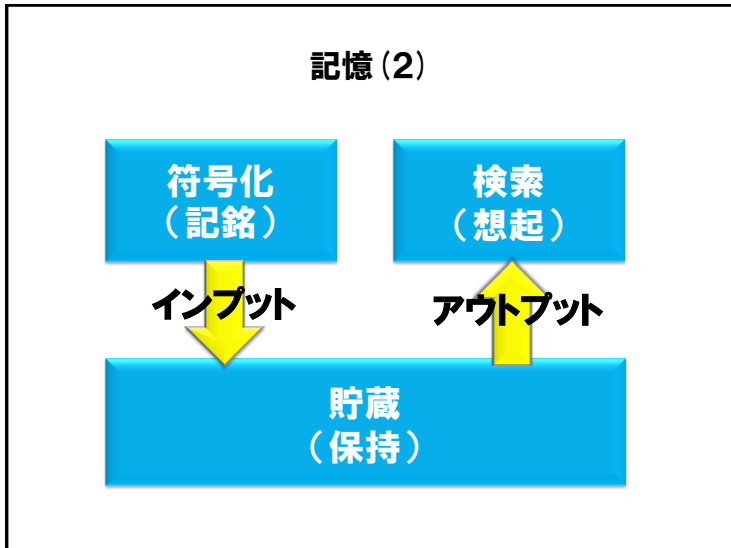
集約(14)

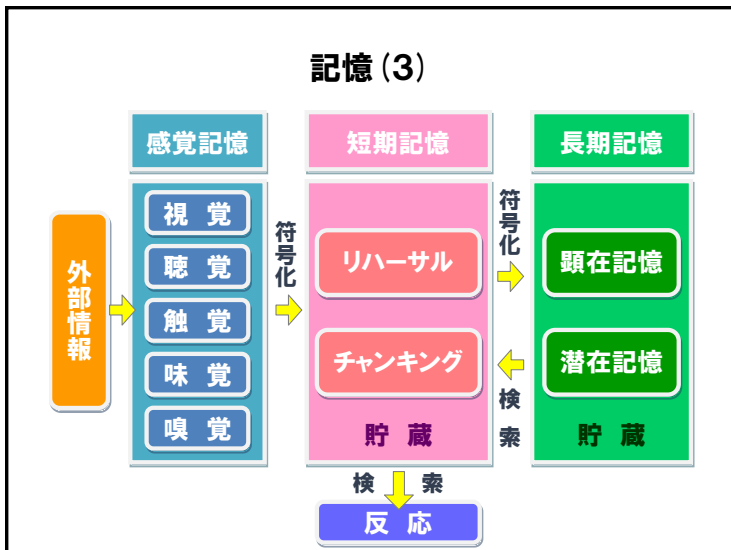


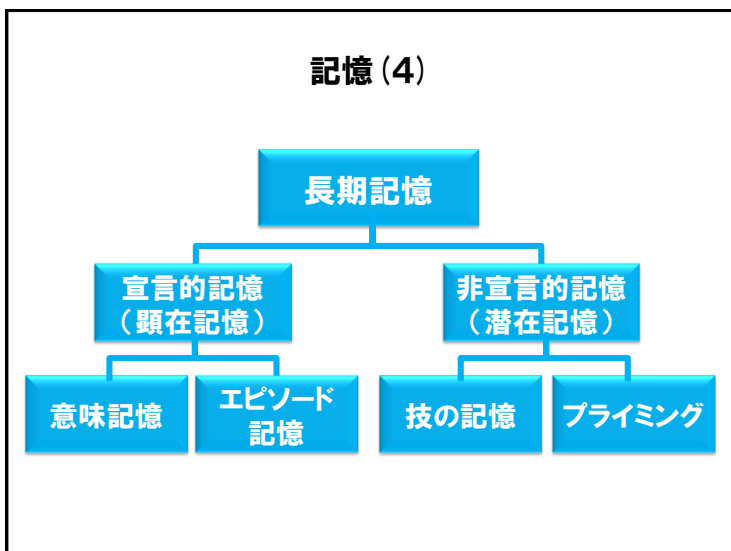


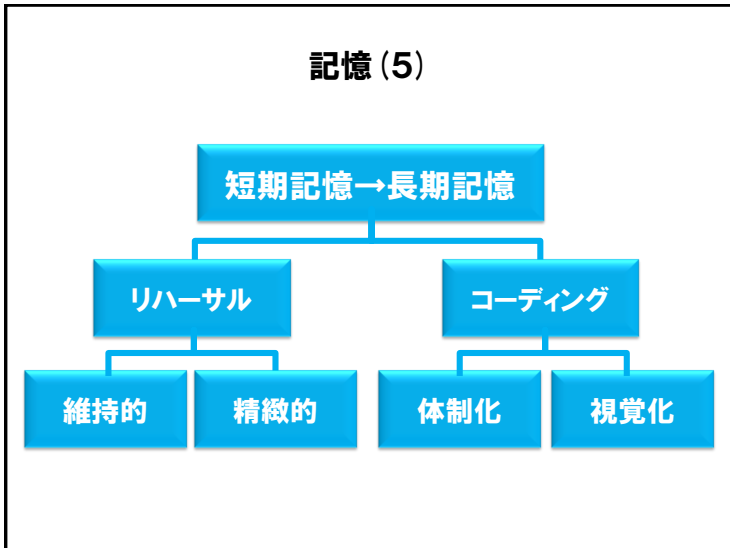
記憶(1)

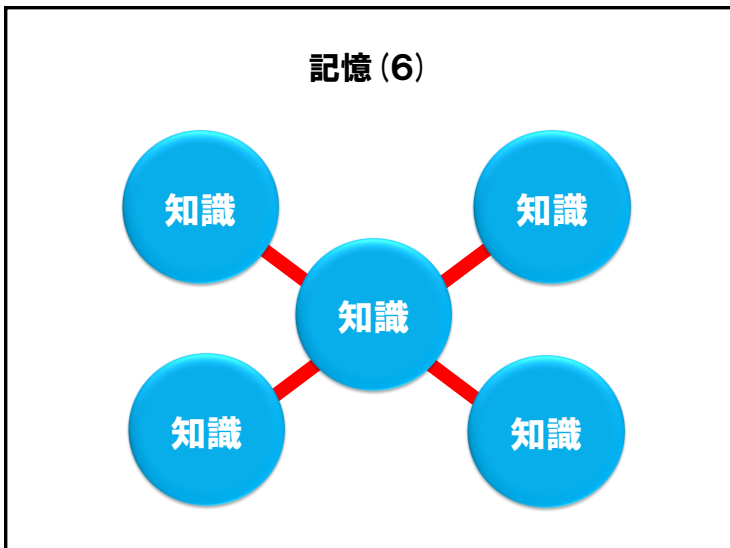


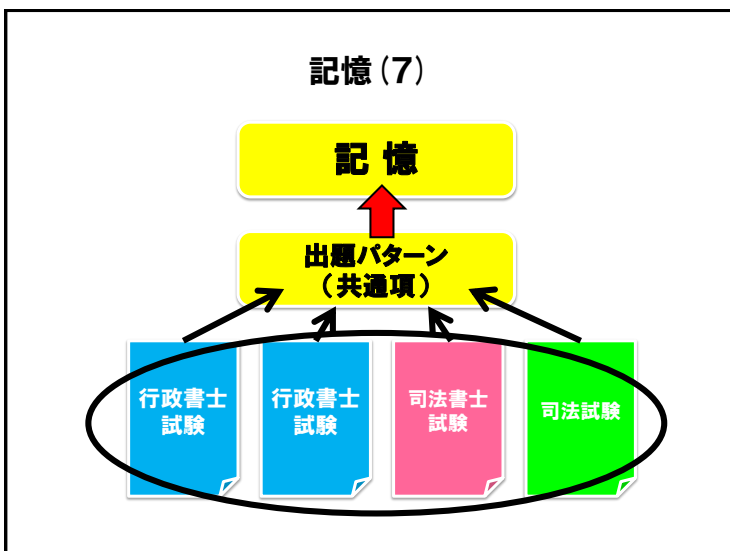




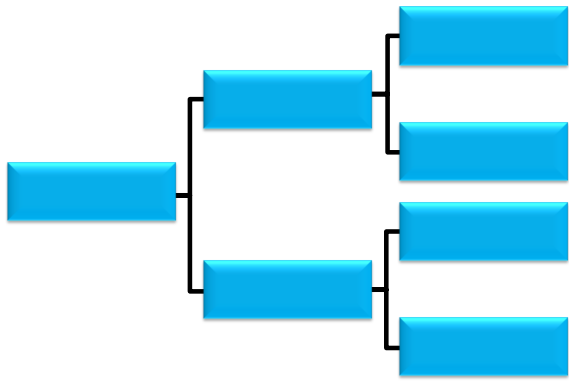








記憶(8)



記憶(9)

	A	B
甲		
乙		

記憶(10)



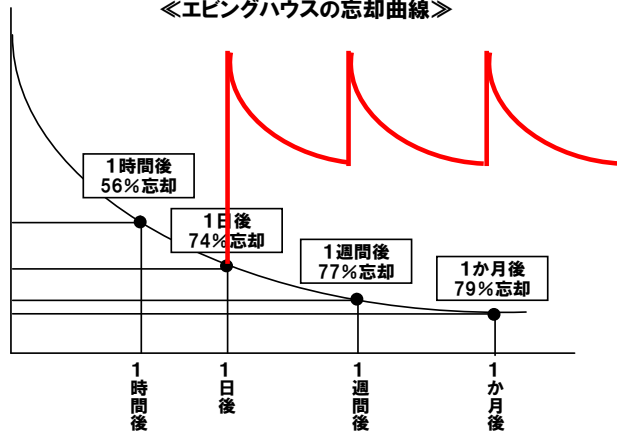
記憶 (11)

問題〇 に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

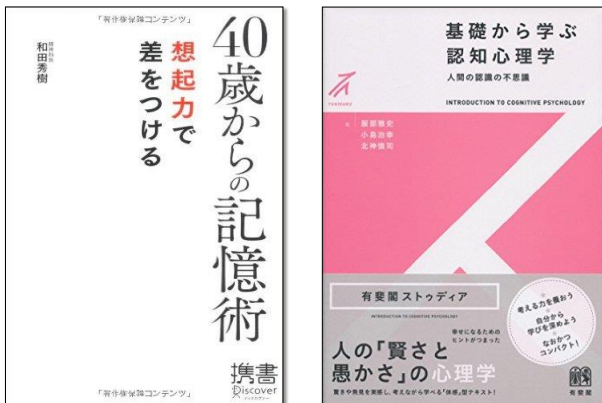
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

記憶 (12)

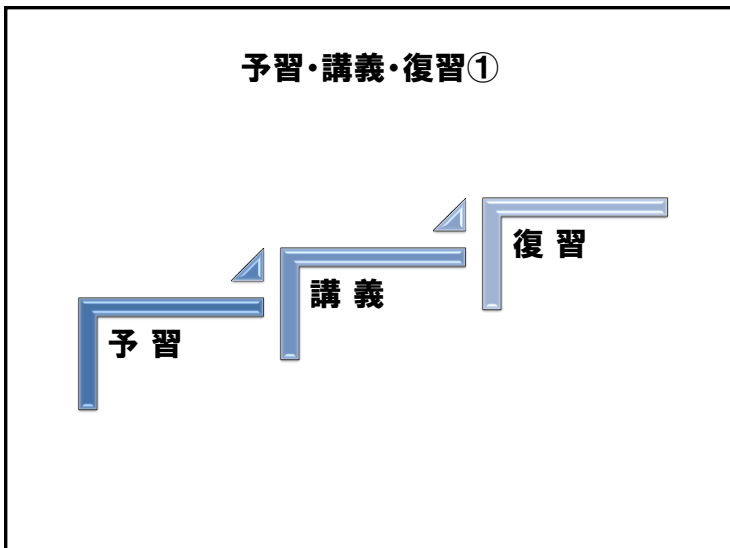
《エビングハウスの忘却曲線》



記憶 (13)









予習・講義・復習⑥

＜六法の使い方①＞

① 目次
→ 森から木、木から枝、枝から葉へ

② 条文見出し
→ 検索キーワード

③ 参照条文
→ 条文と条文の「つながり」

予習・講義・復習⑦

＜六法の使い方②＞

① マーキング
→ ☆、○、□

② 書き込み
→ 過去問、出題予想、ポイント

③ 分冊化
→ いつでも、どこでも

予習・講義・復習⑧

02 物 権

2.20 抵当権

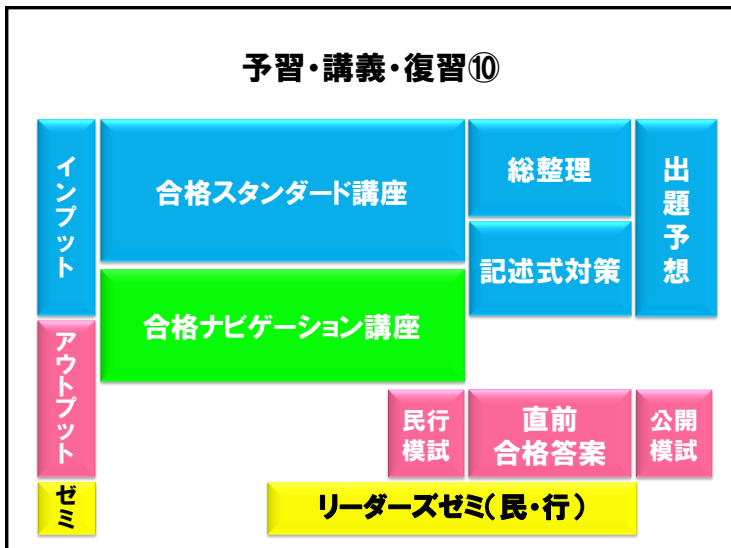
① 抵当権は、債権の担保として、債権者が債権の履行を怠った場合に、担保物から優先的に債権を回収する権利をいう。

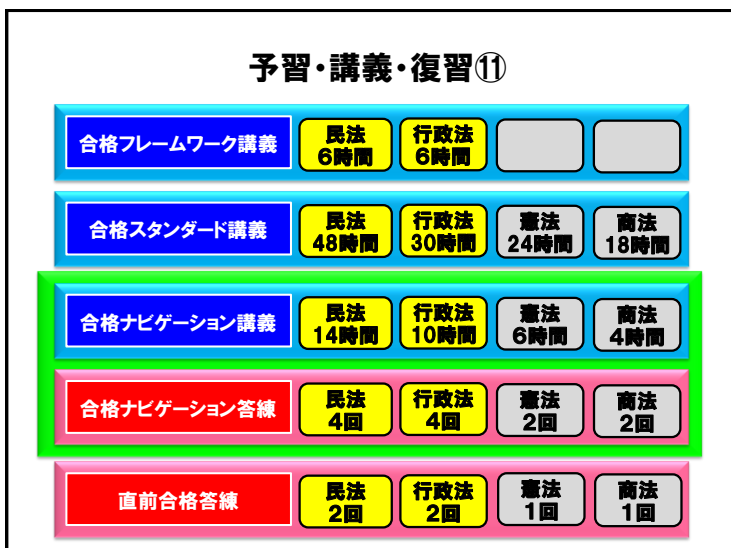
② 抵当権は、債権の消滅とともに消滅する。ただし、債権者が債権の履行を怠った場合に、担保物から優先的に債権を回収する権利をいう。

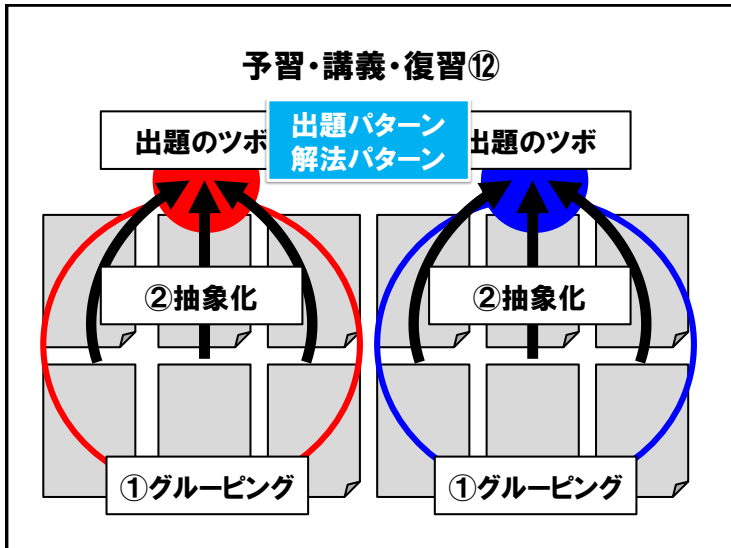
① 抵当権は、債権の担保として、債権者が債権の履行を怠った場合に、担保物から優先的に債権を回収する権利をいう。

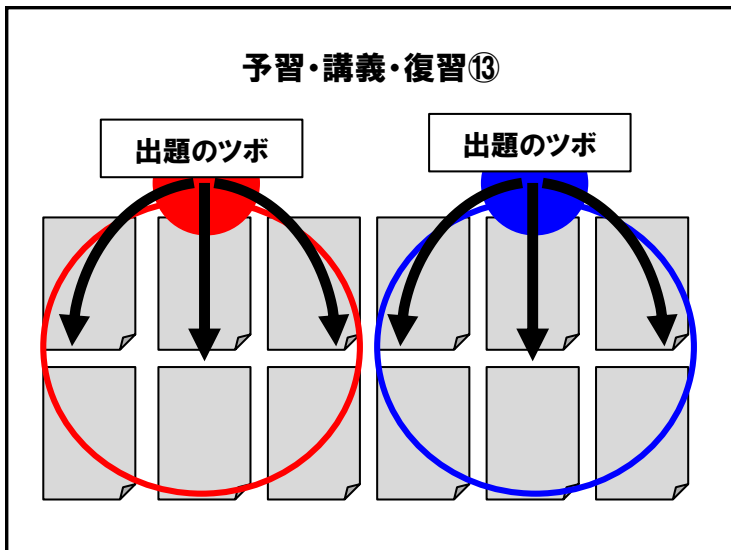
② 抵当権は、債権の消滅とともに消滅する。ただし、債権者が債権の履行を怠った場合に、担保物から優先的に債権を回収する権利をいう。

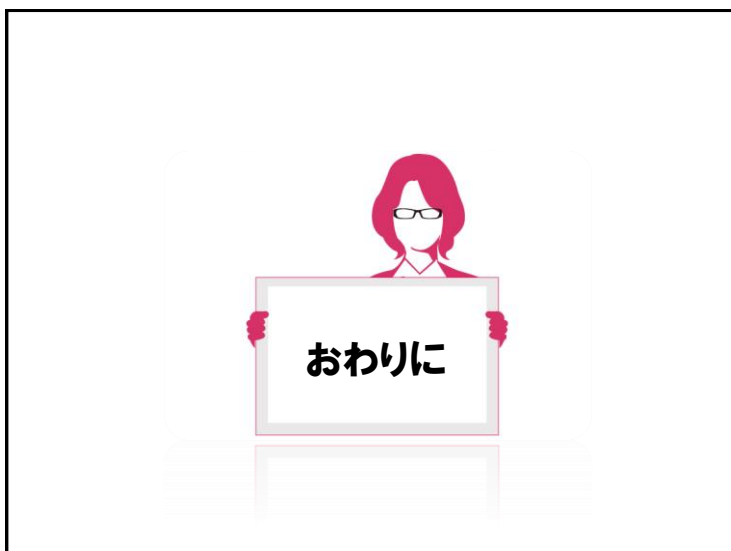




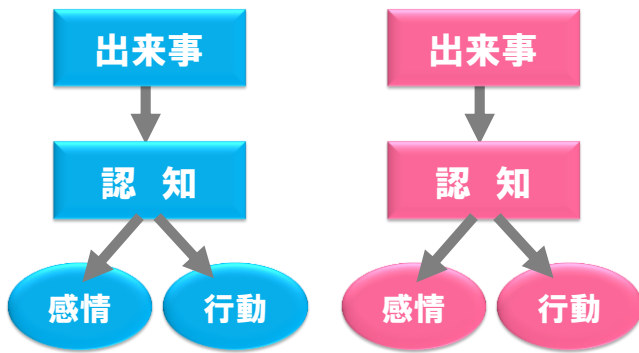








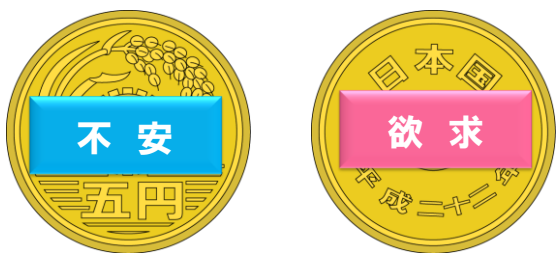
おわりに①



おわりに②

拡大解釈	すべき思考	結論の飛躍
・一つの良くないことを一般化して考えてしまうこと。	・～すべき、～ねばならないという考えに固執してしまうこと。	・確かな根拠もないのに、悲観的な結論を出してしまうこと。

おわりに③



無料
動画

リーダーズ YAMADA の 行政書士おもしろ3分間 Movie



<http://r-tatsumi.com/st/group/gy3minutes/>

リーダーズ総合研究所・山田斉明講師が法律や行政書士試験をテーマに面白おかしく解説。様々なテーマを取り上げてやさしく分かりやすく解説していきます。

取り上げているテーマの一例

『憲法・官公庁シリーズ「国会議事堂」』『民法「軽井沢の別荘事案」』『一般知識シリーズ「世界遺産」』『民法条文シリーズ「質権」』『行政法「許可?の違い」』『一般知識シリーズ「雇用」』ほか



スマートフォン、
タブレットで
視聴できます。

辰 巳 法 律 研 究 所

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6
TEL03-3360-3371 (代表) ☎ 0120-319059 (受講相談)
<http://www.tatsumi.co.jp/>

横浜本校：〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-23-5 銀洋第2ビル4F
TEL045-410-0690 (代表)

大阪本校：〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-13 東梅田パークビル3F TEL06-6311-0400 (代表)

京都本校：〒604-8187 京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435
京都御池第一生命ビルディング2F TEL075-254-8066 (代表)

名古屋本校：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3 第2アスタービル4F
TEL052-588-3941 (代表)

福岡本校：〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-17 西日本ビル8F TEL092-726-5040 (代表)